

Web Column② ドント式 (初版の Column④)

比例代表制では、拘束名簿式にしる非拘束名簿式にしる、各政党の候補者名簿に投じられた得票数に応じて当選人数を割り振らなければならないが、その方法にはさまざまなものがある。ここでは、日本の選挙制度でも用いられているドント式 (d'Hondt System) を紹介しよう。

下の表は、定数 10 の選挙区で、1 万票が 4 つの政党に投じられ、それに基づいてドント式によって議席数を割り振る例を示している。ドント式はまず、各政党が獲得した票数を 1, 2, 3, ……のように正の整数で順に割っていく。そして、その割り算の答えである商の大きい順に議席を与えていくのである。表で順に割り振っていくと、最後の 10 議席目が政党 A の得票数を 6 で割った商と、政党 C の得票数を 2 で割った商の比較となり、 $950 > 800$ なので政党 C に議席が配分されることとなる。その結果、48%を得票した政党 A が 5 議席、31%の政党 B が 3 議席、19%の政党 C が 2 議席、2%の政党 D が 0 議席獲得する。

表 ドント式による議席配分例

定数 10	÷1	÷2	÷3	÷4	÷5	÷6	÷7
政党 A : 4800	4800	2400	1600	1200	960	800	686
政党 B : 3100	3100	1550	1033	775	620	517	443
政党 C : 1900	1900	950	633	475	380	317	271
政党 D : 200	200	100	67	50	40	33	29